

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ひまわりらんど和白センター

公表日 令和 7 年 3 月 31 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	運動や個別活動の十分なスペースを確保しつつ、安全面に十分配慮し支援を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	児童指導員、保育士、社会福祉士、リハビリ、看護師等の専門職を配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	館内、トイレに段差はございません。車いすの方でも安心してご利用いただけます。新型コロナウイルス感染症対策としてシャワー室増設。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	天井の天窓からの日差しも心地よく、十分な空間を取っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	気持ちの切り替えのできる部屋も完備。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	事業所内に掲示し、周知徹底しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者からのご意見・要望等を踏まえ、さらに楽しく充実した時間の提供に努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	月1回以上の内部研修会やマニュアル検討会、業務会議等を開催しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9		第三者外部評価委託経費の確保が難しい為、検討中。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	年次研修計画を策定し、定期的に内部・外部研修会に積極的に参加し、知識を深め自己のスキルアップを図っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	ニーズや意向・要望を踏まえ、また相談支援専門員の障がい児支援利用計画書に沿って一人一人作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	アセスメントや、相談支援専門員の作成するサービス等利用計画書に沿って児童のできること（強み）を引き出せるような計画書作成を目指しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	計画書作成前に案を作成し、支援会議を行い支援の方向性を検討しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	常に、情報共有しながら日々の療育・支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	初回相談時や日々の支援の中から、アセスメントすることはもちろん、その後通所する中で保護者や学校とも連携し都度方向性について検討しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ご本人のニーズ（課題）を十分認識し、できることの幅を広げ、自信を持ってできることを一つづつ増やしていけるような支援プログラム作成を心がけています。本人主体、その中でご家族への支援も行い住み慣れた地域の中で楽しく一緒に歩んでいきたいと考えます。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	児童発達支援管理責任者を中心に進めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	各専門職の意見を聞きながら作成し療育・支援に繋がっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	季節毎のさまざまなイベントを折り込みながら作成し療育に繋がっています。また最近では特に、児童ひとり一人の意見も取り入れながら作成しています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	終礼や業務日誌にて引継ぎを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	終礼や業務日誌にて引継ぎを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	記録の重要性を周知しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	1回/6ヶ月以上定期的に行います。見直し等が必要な際、都度計画原案の見直しを行い、その内容について支援会議を開催しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9	0	児童発達支援管理責任者を中心に進め、その後内部で情報共有に努めています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	児童発達支援管理責任者を中心に進め、その後内部で情報共有に努めています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達支援管理責任者を中心に進め、その後内部で情報共有に努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	相談支援専門員や、学校担任、時には医療とも連携しながら支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	保護者や、学校担任と常に連絡を取りながら、管理者を中心に進めています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	5	保護者や相談支援専門員を通じて、担当者会議へ参加し情報共有を図っています。また、東部療育センターとの連携も図りながら支援プログラムへ繋げよりよい療育に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	特に同法人への障がい福祉サービス事業所へ移行の際は、事業所間で情報共有できるよう努めています。また、法人外への情報提供も保護者承諾の元、必要時・都度行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	東部療育センターや、保育園、児童発達支援事業所とも必要時に情報交換や、収集を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	毎年7月には、地元の笠崎宮夏越し祭りへの参加を就労の方々と共に参加しております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	8	コロナ禍以降、感染防止に細心の注意を払い不参加。オンラインでのズーム会議等には参加。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時や連絡ノートで、利用時の活動の様子や学校からの伝達事項等、保護者へお伝えしています。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	保護者からご相談があった際は、助言等行いながら一緒に共通認識を持ち、統一した支援を行うようにしています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	管理者を中心に進めています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	児童発達支援管理責任者を中心に進めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	児童発達支援管理責任者を中心に進めています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	7	助言・援助を行った担当者の主観も入る為、窓口は一つとしています。相談援助の内容・助言は法人LANや業務日誌等で全員へ周知し、共有できる体制を確保しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9	0	毎年、年末にご家族交流会を開催しています。個別でのご相談にも対応いたしますので今後も是非ご家族皆様でお越しください。今年度も、きょうだい・いとこ様ご参加ありがとうございました。多くの方々にお越し頂き盛大な会となりました。感謝致します。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情・要望の内容については法人LANや業務日誌等で全員へ周知し、早急に解決策を講じ努めています。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月毎に、行事（イベント）予定表を発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	秘密保持の誓約書を職員全員と交わしています。また、パソコンやUSB等によるデータの持ち出し禁止を周知徹底しています。書類は鍵庫に保管。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	一人一人に合った声掛け・見守りを行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	防災（避難）訓練時に、地域住民の方や自治会長さんへ声掛けし合同開催。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	各種マニュアル整備、年次研修計画・実施。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	各種マニュアル整備、年次研修計画・実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	初回アセスメント時に、ききとりし支援を行っています。また、状況の変更時には都度保護者より確認を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	初回アセスメント時に、食物アレルギーや禁忌食材等をききとりし全員周知したうえで支援を行っています。	最近、アレルギー：くるみ、甲殻類（えび・かに）等の児童も増えている。十分に成分分析票のアレルギー食材に目を通し提供する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	防災訓練も、年2回実施しながら児童・指導員一緒に防災意識を高めています。また業務継続計画書を作成し周知行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	年2回以上の避難・誘導訓練を実施し、非常時に対応できるよう日頃より防災意識を高めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	事前にリスク管理の内部研修を行い、転倒や事故に十分注意しながら支援を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会を設置。法人内部でも虐待防止、身体拘束廃止について研修会を開催しスキルアップを図っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	現在、そのような状況に至ったことがありませんが、支援プログラムや、日々の支援日誌へも身体拘束しない旨の確認項目を設けております。マニュアル検討会でも全員へ周知し、今後も適切な対応に努めていきたいと思っています。	